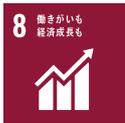
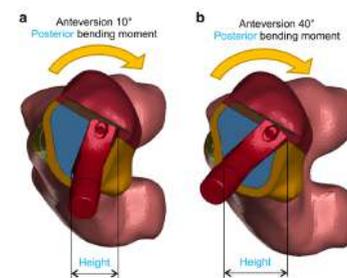


所属・職位	医学部医学科整形外科学講座・准教授	
氏名	加来 信広 (Kaku Nobuhiro)	
取得学位	博士 (医学)、大分医科大学、2002年9月	
SDGs目標	  	

研究分野	整形外科
研究キーワード	股関節、バイオメカニクス、微小解剖

研究内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 股関節疾患の診断および治療に関する研究 股関節に関わる治療改善のため、疾患の特徴、診断方法及び外科治療効果について、臨床的成績を報告している。人工骨頭置換術については、QOLを含めた術後の成績を疾患ごとに綿密に明らかにしてきた。インプラント自体のデザインや材質も改良してきた。人工股関節全置換術においては、インプラントの設置精度改善に対するNavigation systemの有効性について、初回手術および再置換術に対しても検討している。適切な脚長補正を行うための新しい術中確認法を報告してきた。股関節疾患診断のため、FDG-PETの可能性について評価した。寛骨臼形成不全の骨盤の解剖学的特徴や加齢に伴う大腿骨の弯曲変形について、その特徴と影響について検討している。</li> <li>● 股関節のバイオメカニクスに関する研究 3次元有限要素法や治具を用いて、人工関節のデザインや設置条件が及ぼす特徴や影響について検討している。またコンピュータソフトを用いて、最大の可動域を得るための適切なインプラント設置や手術手技をシミュレーション研究から探求している。</li> <li>● 股関節の微小解剖学に関する研究 特別な処理を行うことによって、股関節を構成する靭帯、関節唇、軟骨や骨のコラーゲン線維を明確に描出し、電子顕微鏡を用いて観察している。免疫染色も加えて、血管や神経の形態と走行の特徴も明確にしている。これらの微小解剖に対する加齢の影響について検討している。</li> </ul>
------	--



研究業績・アピールポイント	<p>股関節外科に関わる基礎的及び臨床的研究を多方面から行っているが、すぐに役立つ知見だけでなく、長期的な研究を支える知見も得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 論文 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年、Microvascular system of hip joint constituents with special reference to ultrastructural findings and early arteriosclerosis.</li> <li>2. 2019年、Efficacy of Vitamin E for Mechanical Damage and Oxidation of Polyethylene Rim by Stem Neck Impingement.</li> </ol> </li> <li>● 著書 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2019年、受診時年齢別発育性股関節形成不全の診かた・治しかた (分担)</li> </ol> </li> <li>● 受賞 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2018年、NPO運動器医療ネットワークおおいた 優秀賞</li> </ol> </li> </ul>
---------------	--

